

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●服部寿希騎手がJRA初勝利をあげる

9月8日(土)の4回阪神1日・第7レースではアロマティカスが1着となり、同馬に騎乗した服部寿希騎手(栗東・湯窪幸雄厩舎)は、今年3月の初騎乗から数えて144戦目でJRA初勝利をあげました。

●サマーシリーズの各チャンピオンが決定

9月9日(日)の産経賞セントウルS(GII)と京成杯オータムH(GIII)をもって、本年のサマースプリントシリーズ、サマーマイルシリーズ、サマージョッキーズシリーズが終了しました。サマースプリントシリーズでは第2戦・CBC賞(GIII)と第4戦・テレビ西日本賞北九州記念(GIII)を制したアレスバローズ(牡6歳/栗東・角田晃一厩舎)が計20ポイントを獲得してチャンピオンに輝き、サマーマイルシリーズは「12ポイント以上獲得、かつ対象競走1勝以上」の条件を満たした馬がおらず該当馬なしの結果。サマージョッキーズシリーズではミルコ・デムーロ騎手が32ポイントで最上位となりましたが、対象レース未勝利であったため25ポイントで第2位の福永祐一騎手(栗東・フリー)がチャンピオンとなりました。

●重賞ウイナー5頭の競走馬登録抹消

2016年トヨタ賞中京記念(GIII)の勝ち馬ガリバルディ(牡7歳/栗東・藤原英昭厩舎/JRA通算28戦6勝)、2015年KBS京都賞ファンタジーS(GIII)の勝ち馬キャンディバローズ(牡5歳/栗東・矢作芳人厩舎/JRA通算22戦2勝)、2015年NHKマイルC(GI)などの勝ち馬クラリティスカイ(牡6歳/美浦・斎藤誠厩舎/JRA通算27戦3勝)、2016年ニュージーランドT(GII)の勝ち馬ダンツプリウス(牡5歳/栗東・山内研二厩舎/JRA通算24戦4勝)、2016年サンケイスポーツ賞フローラS(GII)の勝ち馬チェッキー(牝5歳/美浦・藤沢和雄厩舎/JRA通算7戦3勝)は、8月31日(金)までに競走馬登録を抹消されました。ガリバルディは岩手競馬へ移籍、クラリティスカイはJRA馬事公苑で乗馬となり、ダンツプリウスも乗馬となる予定ですが行き先は未定。キャンディバローズは北海道浦河町の富田牧場、チェッキーは北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●JRAの熊本産馬コウユーヌレエフが霧島賞(佐賀)を制覇

九州産馬限定の霧島賞(3歳以上、9月11日、佐賀、1400m)、JRA所属馬は1000万円以下)は、5番手から追い上げたコウユーヌレエフ(川又賢治騎手、牡4歳、父ロージズインメイ)が、このレース3連覇を狙ったキヨマサ(兵庫)をゴール前で差し切り、単勝1.7倍の支持に応えています。

●佐賀の山口勲騎手がゴールデンジョッキーC(園田)に優勝

9月12日に園田で全国から通算2000勝以上の騎手を集め、3レースのポイント制で争われたゴールデンジョッキーCは、佐賀の山口勲騎手が優勝。JRAの戸崎圭太騎手は第2位、福永祐一騎手は第8位、岩田康誠騎手は第9位でした。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド佐賀の結果

ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド佐賀は9月11日に実施され、第1戦は石堂響騎手(兵庫)、第2戦は義英真騎手(栗東)が優勝しています。

●門別競馬が地震の影響のため9月20日まで開催中止

9月6日発生の北海道胆振東部地震の影響(断水等)により、門別競馬場は9月20日までの開催を取り止めました。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G3セブテンバーS～エネイブルが復帰戦を快勝

9月8日にイギリスのケンプトン競馬場で行われたG3セブテンバーS(3歳上、オールウェザー11f^{219y})は、単勝1.53倍の1番人気に推されたエネイブル(牡4歳、父ナサニエル、英J.ゴスデン厩舎)がL.デットーリ騎手を背に逃げ切り勝ち。昨年10月のG1凱旋門賞以来となるレースを白星で飾り、目標とする凱旋門賞連覇に向けて弾みをつけました。3馬身半差の2着に今夏のG1キングジョージVI世&クイーンエリザベスSで2着だったクリスタルオーシャン。3着馬はそこから17馬身も離されました(4頭立て)。エネイブルは昨年、英オーケスから凱旋門賞までG1・5連勝をマーク。しかし、今年5月に膝を痛めたことで復帰が遅れています。

●G1ムーランドロンシャン賞～レコレトスが接戦制す

秋のフランスマイル王者を決めるG1ムーランドロンシャン賞(3歳上牡馬、芝1600m)が9月9日にパリロンシャン競馬場で行われ、中団待機から直線で鋭く伸びたレコレトス(牡4歳、父ウィッパー、仏C.ラフォンパリアス厩舎)がG1仏1000ギニー3着馬ウインドチャイムズとの競り合いをアタマ差で制して優勝。今年5月のG1イスパーン賞(芝1850m)に続く2つ目のG1勝ちを果たしました。勝利騎手はO.ペリエです。